

貸借対照表

(令和1年5月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	263,423	流動負債	695,994
現金及び預金	82,909	買掛金	844
売掛金	8,214	未払金	30,825
前払費用	138,315	未払費用	10,666
立替金	33,505	前受金	651,461
未収入金	1,081	未払法人税等	541
その他	1,080	その他	1,654
貸倒引当金	-1,683	固定負債	18,195
固定資産	147,839	インプラント保証引当金	1,738
有形固定資産	2,333	負債合計	715,928
建物附属設備	2,147	(純資産の部)	
工具、器具及び備品	186	株主資本	△ 304,665
無形固定資産	51,758	資本金	25,000
ソフトウェア	6,144	資本剰余金	25,000
のれん	45,613	資本準備金	25,000
投資その他の資産	93,748	利益剰余金	△ 354,665
長期貸付金	70,560	その他利益剰余金	△ 354,665
その他	23,188	繰越利益剰余金	△ 354,665
		純資産合計	△ 304,665
資産合計	411,263	負債・純資産合計	411,263

(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて記載しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づき定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② インプラント保証引当金

インプラント保証サービスに係る再治療費の支出に備えるため、実績率等を勘案して将来発生すると見込まれる負担額を計上しております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。ただし、金額に重要性が乏しいものについては、発生時に一括償却しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純損失

△101,424,691円